

## 9月定例会

平成19年度各会計決算認定

2面

一般質問 6人の議員が問う

6面

常任委員会審議内容、第6回臨時会内容

11面

まだまだ元気！笑いが一番  
(楽しかった町敬老会)

# 9月(第5回)定例議会

平成20年9月定例議会が、9月9日から9月19日までの11日の会期で開催されました。

今議会に提案された平成19年度各会計決算、条例の一部改正、平成20年度補正予算などの議案を慎重に審議し、提案された31議案全てを原案のとおり可決(認定)しました。

平成19年度各会計決算については、決算審査特別委員会を設置して審査を行い、委員長の報告のとおり認定しました。

さらに、議会会議規則の一部改正、国に提出する意見書など、議員提出議案5議案も全て原案どおり可決しました。

## 平成19年度 各会計の決算状況と採決のようす

| 区 分              |                  | 歳入決算         | 歳出決算         | 採決結果          |
|------------------|------------------|--------------|--------------|---------------|
| 一 般 会 計          |                  | 83億7373万9千円  | 81億7067万4千円  | 賛成 14<br>反対 2 |
| 特<br>別<br>会<br>計 | 住宅新築資金等貸付事業      | 1146万1千円     | 1148万3千円     | 全員賛成          |
|                  | 高齢者及び障害者住宅整備資金貸付 | 250万1千円      | 193万6千円      | 全員賛成          |
|                  | 国民健康保険           | 18億4890万6千円  | 18億3303万7千円  | 全員賛成          |
|                  | 老人保健             | 20億7046万3千円  | 20億7329万4千円  | 全員賛成          |
|                  | 介護保険             | 13億7325万7千円  | 13億 273万5千円  | 全員賛成          |
|                  | 温泉事業             | 1193万5千円     | 988万9千円      | 全員賛成          |
|                  | 下水道事業            | 13億 988万7千円  | 13億 977万8千円  | 全員賛成          |
|                  | 農業集落排水処理事業       | 1 億5902万9千円  | 1 億5902万9千円  | 全員賛成          |
|                  | 簡易水道事業           | 4600万3千円     | 4600万3千円     | 全員賛成          |
|                  | 分譲宅地業造成事業        | 307万2千円      | 307万2千円      | 全員賛成          |
|                  | 財産区(6 財産区)会計     | 600万9千円      | 528万8千円      | 全員賛成          |
| 合 計              |                  | 152億1626万2千円 | 149億2621万8千円 |               |

| 区 分     |        |    | 収 入           | 支 出           | 採決結果 |
|---------|--------|----|---------------|---------------|------|
| 企 業 会 計 | 国民宿舎事業 | 損益 | 3 億9739万 6 千円 | 3 億7705万 8 千円 | 全員賛成 |
|         |        | 資本 | —             | 8120万 1 千円    |      |
|         | 水 道 業  | 損益 | 2 億2954万 5 千円 | 1 億6079万 2 千円 | 全員賛成 |
|         |        | 資本 | 5497万 2 千円    | 1 億7054万 4 千円 |      |

### ※ 監 査 の 意 見 ※

平成19年度一般会計、各特別会計及び公営企業会計の予算執行状況については、一部検討課題を残し、概ね適正であると認める。

### 【留意改善を必要とする事項】

1. 不納欠損処理と時効対策について、管理の徹底と研修の履行。
2. 国民宿舎事業において、会計に係る体制確立と経営改善の実行。
3. 水道事業についても、不納欠損と時効対策の処理を適正に実施。
4. 不動産管理について、不稼動資産の有効活用につき引き続き検討。

● 町税など、滞納整理対策強化を強く要望 ●

平成19年度各会計決算を認定



## 平成19年度 一般会計決算認定

一般会計決算認定に係る審査において特に議論、指摘をしたことは、歳入において町税をはじめ、保育料、住宅使用料等各種の収入未済がなお多額に生じていること。これに対し、今後を含め、町の徴収、滞納整理対策について方針をただした。歳出についても多額の不用額を生じていることに対して、事務事業の早期着手と適正な予算執行及び不用額の生じた理由の精査を強く求めた。

## 平成19年度 特別会計決算認定

特別会計の審査においても、一般会計同様に多額の収入未済及び不用額について議論を集中した。また、一般会計も含めて、不納欠損処理等に係る適正な債権管理に向けて研修の徹底を要請した。

## 検証！

# 予算執行は 適正だったのか

平成19年度決算審査特別委員会



慎重審議の委員会

平成19年度決算は、特別委員会を設置し、9月16日、一般会計をはじめ19会計決算について審査しました。審査内容（一部）は次のとおりです。

**Q** あまりにも不用額が多すぎる。早めの事業着手、執行により精算に努め、減額補正対応できないものか。

**A** 工事費や医療費等は不確定なところもあり難しい。予算があるから何でも使うのではなく、不用なものを使わないのが基本と考える。いずれにしても、早めの事業着手に心がけ、適正な予算執行に向けてなお一層の努力をしていきたい。

**Q** 不用額が多いのは、何らかの不測事態、事由が発生したからか。すくなくとも決算書に理由の掲載が必要と考えるが。

**A** 個々の不用額については、その理由を分析してみる必要がある。決算の説明資料として「事業成果報告書」を作成しているが、別途不用額についても整理する必要があると考え

る。今年度予算で実施してみたい。

**Q** 町税、保育料、住宅使用料など各種の収入未済が多くあるが、徴収、滞納整理体制はどうなっているのか。

**A** 滞納の大きなものは旧町時代の大口企業倒産関連のものであるが、同じ人がいろいろな分野で滞納していることもある。

町税等滞納整理対策本部を立ち上げ情報交換を行っているが、まだ不十分な点があると考えている。今後情報共有化し、積極的な取り組みを進めていきたい。

**Q** 地方交付税の減は、国が一方的に決定してしまったもの。国に対して物申すとともに、町の財政状況について町民に対して説明責任があるのではないか。

**A** 地方にとって地方交付税は大元であり、今後ともあらゆる機会をとらえて運動はしていく。地方を取り巻く財政状況は厳しいものがある。現状及び将来にわたる行財政運営について、機会をとらえて町民への説明責任を果たし、理解を求めている。たい。

**Q** 社会福祉協議会への補助金、委託料の減について、福祉がで



社会福祉協議会の事業紹介（福祉大会にて）

いと不満が出ていた。一方的なカットではないか。

**A** 社会福祉協議会とは車の両輪であると思っている。平成19年度の補助金、委託料については個々に見直しを行った。やみくもに補助金等の減はしていない。事業自体を十分精査しながら決定したものである。改革に取り組んでいる中、多少の痛みは仕方ないと理解してほしい。



スポーツ拠点事業採択を目指す  
ジュニアグラウンド・ゴルフ大会

**Q** ジュニアグラウンド・ゴルフ大会について、3年目を迎えたが、町長の見解はどうか。

**A** ジュニアグラウンド・ゴルフ大会は文部科学省の進めるスポーツ拠点事業として取り組んでいるところ。まだまだ課題もあるが、この事業に採択されれば10年間国より補助制度がある。グラウンド・ゴルフや本町を発信するという意味からも、

採択に向けて継続していきたい。

**Q** 平成19年度は学校図書購入費が減ってしまった。児童生徒の活字離れ、読書離れを防ぐ目的で国の推進事業もあるはずなのに、どうしてか。

**A** 国の推進事業に係る交付税措置についても疑問があるが、蔵書数も国の基準をオーバーしている状態。この予

算を他の部門に回していることもなく、問題は無いと考える。

**Q** 不登校の現状はどうか。また不登校は減ってきているが、いじめは増加していると聞く。対応は怎么样了のか。

**A** 重要課題として捉え、平成20年度は主事2名を配置し、カウンセラーも含めて対策会議を行っている。教育相談員は、北摂中2名、東郷中1名を配置している。毎月1回、保・幼・小・中の連絡会を開催して連携をとっている。いじめについては、臨床心理士にもお世話になっている。

**Q** 医療費の減に向けて、行政職員全体で取り組むシステムづくりが必要だと提言したが、どう取り組んだのか。

**A** 平成19年6月から50

地区で地区説明会を開催。本町の医療費の実態を広報することにも、医療費分析の実施結果を踏まえ、平成20年度は糖尿病に対するモデル事業を計画。職員全体で医療費、健康等に共通認識のもと取り組み体制として、各課から委員をだし、検討委員会を立ち上げ、活動をスタートした。

**Q** 外出支援サービスについて、白ナンバーではできなくなったが、社会福祉協議会は全く手を離れたのか。

**A** 社会福祉協議会に緑ナンバー取得をお願いしたがダメであった。結局、町外の業者をお願いした。地域で支えるという観点からすれば、町内にそのような組織ができればと思う。福祉施策の衰行はあってはならない。実際の利用状況を見て検証していきたい。

## 平成19年度決算審査特別委員会報告

決算審査特別委員会に付託された平成19年度19会計の審査の結果が、9月19日本会議において委員会報告として報告された。予算執行が適正になされたかどうかをいろいろな角度から審査した結果、概ね適正な執行がなされたものと認め、付託された19会計について、原案のとおり認定することとした。

なお、今後の予算執行に当たって、次の付帯決議が議会の意向として付けられた。

①多額の不用額を生じていることについて、特別な事由によるものを除き、事業の早期着手と予算執行及び確定に努め、不用額については確実に減額補正対応するとともに、個々の不用額事由の精査をすること。

②町税ほか各種の収入未済額がなお多額に生じていることについて、滞納の実態、原因を分析し、滞納整理対策本部のさらなる強化と適正な債権管理に努め、納税者の間に不信感が生じないよう一層の努力を図りたい。

③補助金、委託料等の事業については、厳しい財政状況のもと、中間検査を導入し、また、事業成果を示す証拠書類の添付など、なお一層の取り組みをお願いする。

④厳しい財政状況のもと、本町の現在及び将来の確たる財政計画を樹立し、町民への説明責任を果たすこと。

【特別委員会報告抜粋】

平成19年度決算認定のほか、9月定例議会に提出された議案については次のとおりです。

## 補正予算

### ☆一般会計

歳入歳出それぞれ2億4286万5千円を減額し、予算総額を93億178万4千円とするもの。

主な内容は、地方特例交付金及び地方交付税の確定、地域振興寄附金に伴う基金積立、F-T-T-H（情報環境基盤整備）事業関係の請け差、税務情報システム改修工事、漁業振興費補助金など。

### ☆高齢者及び障害者住宅整備資金貸付事業特別会計

歳入歳出それぞれ1万6千円を減額し、予算総額を519万4千円とするもの。

主な内容は、平成19年度の繰越金による補正。

### ☆国民健康保険事業特別会計

歳入歳出それぞれ1486万9千円を追加し、予算総額を18億6186万5千円とするもの。

主な内容は、平成19年度の繰越金及び保険給付費、予備費の補正。

### ☆老人保健特別会計

歳入歳出それぞれ365万9千円を追加し、予算総額を2億2677万1千円とするもの。

主な内容は、老人医療費支給費の補正とそれに伴う国県費等の負担割合分の受け入れ補正。

### ☆介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ6052万1千円を追加し、予算総額を14億3481万3千円とするもの。

主な内容は、平成19年度の繰越金及び国庫支出金等の精算返還金による補正。

### ☆東郷財産区特別会計

歳入歳出それぞれ4万4千円を追加し、予算総額を704万4千円とするもの。

主な内容は、中国電力巡視路設置に伴い、立竹木等の伐採補償に伴う補正。

### ☆水道事業会計

収益的支出の予定額に122万円を増額し、総額を1億8718万5千円とし、また、資本的支出の予定額に315万円を増額し、総額を2億126万5千円とするもの。

資本的支出については、高辻配水池新設の実施設に伴う工事費の増額。

## 条例関係

### ☆認可地縁団体印鑑条例の一部改正

認可地縁団体印鑑の登録については、認可地縁団体の代表者及び所定の手続きにより選任された者が受けることができるが、地方自治法の改正により今回具体的に者が規定されたことによる条例の一部改正。

### ☆被災者住宅再建支援事業助成条例の一部改正

被災者生活再建支援法

の一部改正に伴い、県被災者住宅再建支援条例の一部改正が行われ、支援金の交付対象範囲及び支援金の額を県に併せて改正。

### ☆手数料条例の一部改正

住民基本台帳カードの交付手数料（現行500円）を平成22年度末までの間無料とすること。

オウム真理教犯罪被害者への戸籍事項の証明書を無料で取り扱うこととするもの。

### ☆議会の議員の報酬及び旅費に関する条例の一部改正

地方自治法の改正により、議員の報酬の支給方法を他の行政委員会委員等の報酬の支給方法等に関する規定から分離するとともに、議員の報酬の名称が「議員報酬」と改正されたことによる一部改正。

## その他

☆工事請負契約の締結  
高辻新配水池築造工事に係る工事請負契約の締結について可決。

### ☆議会会議規則の一部改正

地方自治法の一部改正により、議会全員協議会等の活動が正式な議会活動として位置づけられたことにより、議会全員協議会を町議会会議規則に規定するもの。



平成22年度末まで無料交付の住基カード



6人の  
議員が問う

一般質問

ここが  
聞きたい!

平成20年9月定例会は、9月9日に開会され、第6日目の9月14日（日）に一般質問が行われた。

質問議員6人が登壇し、町政全般について熱心に議論を展開した。



一般質問（議場風景）

公民館を地域づくりの拠点に再編し、教育委員会部局から首長部局へ移管しコミュニティセンター化する。また、その機能を地域コミュニティへ移管するなど、組織改革が今後進むことが予想される。この評価と本町としての方向性を伺う。

今後、公民館の統合や指定管理の導入が進めば、中山間地を抱える地方自治体で生活・社会環境の悪化、住民サービスの低下が予想される。地区公民館の位置づけと機能、運営の見解を伺う。



寺地章行 議員

Q地区公民館の今後のあり方は  
A地域づくりの拠点として  
積極的に支援する

答弁（町長）

公民館事業は、すでに10地区公民館を設置し、各地区の代表区長に運営を委託し、自主的・自発的に取り組まれているが、地域づくりの主体は公民館ではなく、自治組織集

落・自治会と考える。本町としても「集落づくり総合交付金」など積極的に支援を行っている。

地区公民館は生涯学習の拠点であり、さらに地域づくりの活動拠点としての機能も有している。

地域サークル活動の支援、地域の実情に沿った学習、防災・防犯活動についての学習、歴史伝統文化講座に積極的に取り組むことが大切である。



中央公民館パソコン教室事業

## Q「宇野」地蔵ダキ」周辺の整備を

### A地元と協議しながら

### 対応を検討する



竹中壽健 議員

住民を守るためにも早急な対策が必要である。前向きに検討してほしい。

### 答弁（町長）

長年保存活動に尽力してこられた保存会の皆様、宇野区の皆様に心から敬意を表します。

宇野「地蔵ダキ」が平成の名水百選に認定された。地区、町にとっても大変名誉なことである。保存会を中心に地元をあげて維持・管理に努めているが、町としての認識を伺う。

利用者も多く来られて嬉しい反面、路上駐車等で日常生活に支障をきたしている。地区で可能な限りの対策を講じているが限界がある。行政の力を借り、駐車場及び周辺の整備をお願いしたい。

この地区は、崩壊及び災害危険区域である。利用者も多数来られるし、

今後、地蔵ダキを観光地として積極的な集客を図ろうとするのか、あるいは保全しようとするのかで対応も変わってくると思う。道路に車を置かない方法も必要であると考えており、地元と協議し、町としての対応を検討してみる。

急傾斜地崩壊対策については県の事業であり、限られた予算の中でなかなか採択にならない状況だが、一層力を入れて要望を行いたい。



平成の名水百選 宇野「地蔵ダキ」

## Q「雇用促進住宅」の

### 廃止方針に対する対応は

### A内部検討会議を設け対応

雇用促進住宅は、原則として2011年までに廃止し、市町村に売却する。それが困難な場合は取り壊して更地にし、民間に売却するという方針が出された。

住民の方々は怒りや不安を募らせている。住居取り上げは生存権の乱用であり、借地借家法に照らしても正当な理由はない。また、長瀬雇用促進住宅は昨年までに全面的に改修したばかりである。

国に対して①将来とも存続させる、②譲渡する場合は無償にする等、住民が安心して住めるよう強く要請すべきである。

町長の考えを伺う。

### 答弁（町長）

平成20年2月に「平成20年度中に譲渡希望が無

ければ民間に売却、不調の場合は廃止」する旨の通知を、雇用・能力開発機構理事長名で受けている。現在、内部検討会議を設け対応を検討しているが、厳しい財政状況の中で、取得資金の問題、今後の維持管理経費、修繕工事費等を熟慮しなければならぬ。

長瀬雇用促進住宅は、平成28年の廃止リストに入っている。その頃の町内の民間アパート供給状況や入居者の将来における気持ち、意見等を聞きながら、総合的に検討していきたい。

※竹中議員の「同和対策事業について」の一般質問は、紙面の関係上、省略します。



## Q松崎駅前地区の

振興に対しての対策は

### A「住民が主体」を応援



会見祐子 議員

公共施設の減少は、人の往来が少なくなり、活性化が停滞するため、松崎駅前周辺も取り残されるのではないか。

歴史豊かな町、特産品に誇りが持てる町としてプロジェクトを組み、住民と行政が一体となり、継続的に町おこしに取り組んでいく必要があると思う。

松崎商店街は散策するのに貴重な街並みと言われている。商工会女性部も頑張っておられる姿に応援をし、レトロな街をPRすべきと思うが、町長の考えを伺う。

#### 答弁（町長）

松崎駅周辺には温泉、東郷池、中国庭園などがあり、二十世紀梨や野花豊後、シジミなど豊かな資源にも恵まれている。駅前にはレトロな商店街がある。

現在、観光客誘導策として今滝の滝床料理、東郷梨選果場見学ツアー、中華コスプレ、ドラゴンカヌー、夏祭りイベントなど、地域資源を生かした様々な取り組みが行われているが、それが直接松崎駅周辺の活性化に繋がっていないのが問題である。

地域づくりは「住民が主体となりうるか」であり、行政は何を手伝えるのか一緒に考えていきたい。



貴重な街並み 松崎商店街の今後は？

## Q防災協議会へは

女性の登用が必要

### A女性の推薦をお願いしていく

#### 集中豪雨、活断層地震

などがいつ起こるか分からない時代に、防災に女性が関わらねばならない。男女共同参画の検証からも防災組織に女性の参画が求められている。

防災協議会への女性の登用が難しいのなら、町として独自の組織を作ってはどうか。また、女性消防団員が少ないので、別組織を作り訓練を積み重ねる必要があるのではないか。

避難所での女性に対する暴力問題、妊産婦・授乳児を持つ母親・介護や支援を必要とする人への配慮不足などが考えられるので、女性の立場で立案し、避難所の設置段階からの参画が求められていると思うが、町長の考えを伺う。

#### 答弁（町長）

町防災協議会の委員23名中、女性は1名である。あて職で選ばざるを得ず、現状となっている。今後は、依頼する際には構成員に女性を推薦してもらうようお願いしたい。

本町の女性消防団員は2名で、近いうちに6名程度になるよう勧誘している。確保された時点で鳥取県女性防火・防災連絡協議会に加入したい。

安心して避難生活が送れるよう、各種対策が必要になってくる。プライバシーや女性等の人権に配慮した体制の整備を図っていく。男女共同参画プランの中でも検討していく。



## Q情報モラル教育の取り組みは

### A県の青少年健全育成条例に沿って対応



浜中武仁 議員

インターネットや携帯電話の普及など社会の情報化が急速に進む中、これまで以上に情報教育を充実させることが求められている。一方、インターネット掲示板、携帯電話のメールを使いたいじめや、児童生徒にとって有害な情報、詐欺、脅迫など悪質な事件が続発している。

情報処理活用能力を身につけるとともに、情報モラル教育を充実するべきだが、情報教育の成果と課題、各学校での取り組み状況を伺う。

#### 答弁（町長）

次世代を見据えた人的基盤づくりのため、全ての教員へのＩＴ機器の整備や町内全ての小・中学校に機器の整備をしてきた。教員がＩＣＴ（情報コミュニケーション技術）を効果的に活用した授業を展開していくことが重要と考える。



パソコンを活用しての学習（東郷中学校）

#### 答弁（教育長）

情報モラル教育については、保護者対象の研修会の実施、児童・生徒には学習時間での指導を実施している。

県の青少年健全育成条例の改正により、有害情報対策として、中央公民館羽合分館・あやめ池スポーツセンター・アロハホールのパソコンを撤去した。また、中央公民館泊分館・風土記館のパソコンは使用制限をしている。

## Q東郷池・橋津川の水質浄化の取り組みは

### A行政・地域住民・企業が一体となり取り組む



浦木 靖 議員

東郷池・橋津川の水質は、昔と比べてもまた悪化しているが、その取り組みは。

来年度から、県が主体となり、２億円をかけ、水深３ｍ以上の部分に覆砂工事を行う予定であるが、それと同時に樋門の開放時間を長くし、池の水の流れを作ってやることで、水質浄化のためにも大切であると考えているが、町長の所見を伺う。

また、住民の方に東郷池は自分たちの大切な宝物だと理解してもらう必要があると考えるが、どうなのか伺う。

#### 答弁（町長）

本年度は、水質管理計画に基づく浄化施策を着実に推進するため、平成２２年度末までの実行計画として「東郷池の水質浄化に向けたアクションプログラム」を作成し、

A・漁協・企業として取り組む施策、地域住民と進めることなど７対策１６項目を掲げている。水質悪化を招く湖底のヘドロを砂で覆う「湖内覆砂事業」について、町からも県に積極的に要請し、平成２１年度・２２年度の２年間で進められることとなった。水質浄化は、行政・地域住民・企業が一体となって取り組み、実現したい。



みんなで守ろう！東郷池（１０月５日 一斉清掃）

## Q 農業再生の努力を

### A 積極的にできるものから 取り組む



増井久美 議員

日本共産党は13年ぶりにまとめた「農業再生プラン」を発表し、各地で農業関係者との対話を続けている。このプランに沿って次の点を伺う。

① 価格保障・所得補償制度について。

② 本町の農業形態はどうか。

③ WTO 農業協定をどう考えるか。

④ 「食の安全」と地域農業の再生について。

国も地方も一体となって農業再生に取り組む時が来ていると思うが、町長の考えを伺う。

#### 答弁（町長）

① 一律に価格保障等を行うことは、他産業との関係などから困難な点や不適切な点もあると思う。

② 2005年農林業センサスによれば、町内の家族経営の農家は960経営体、農産物の販売高1000万円以上の農家は23戸となっている。

③ 日本農業の特殊性などきちんと主張することが大切だと思う。

④ 食品の自給率を高める、地産地消の推進が必要だと考える。現在、農業振興のため町農業振興審議会に諮問しているが、積極的にできるものから取り組んでいく。



実りの秋 コンバイン刈り取り作業

## Q 保育所・幼稚園の再編は

### A 町有施設の利用の 可否を検討

「町民との意見交換会」の中で、橋津保育所・浅津保育所・羽合幼稚園の一体化が出された。各地区の方や保護者にとって大きな関心事である。今後どのように進めていくのか伺う。

また、長瀬保育所の完全民営化という話も出たが、長瀬保育所は現在、公設・民営で社会福祉協議会に委託されている。旧羽合地区の子どもが100人以上通っている施設である。町の子育てへの責任をどう考えているのか伺う。

#### 答弁（町長）

新たな施設を開設するには、利用可能な町有施設を利用すべきと考え、現在、羽合東、西コミュニティ施設の利用の可

否について調査を行っている。調査結果をもとに町の考えをとりまとめ、町民、保護者の方へ示していく。

民間施設であっても、認可施設である限り公益事業と位置づけられ、行政の責任や監督から外れるものではない。私立の保育所がどのような形で運営されているのか情報交換等が必要ではないかと考えている。

※増井議員の「小学校の通学バスの運行について」の一般質問は、紙面の関係上、省略します。



# 常任委員会

## 審議内容

### 総務常任委員会

9月10日  
9月19日

Q 一般会計補正予算の町税還付補填金とは何か。

A 課税誤りでの還付については、税法上の遡及は5年だが、民法上では10年の遡及規定があり、町の補填要綱を作成した。固定資産税の課税においてこの要綱に該当するものが1件判明し、これを補填するもの。

Q 年金者の住民税特別徴収に係る税務委託料の中味は。

A 公的年金から住民税を特別徴収するシステムを整備する委託料。対象者は少ないのに2000万円あまりの事業費が必要となり、

非常に効率の悪いシステム改修であるが、国の施策、方針であるので仕方ない。

Q FTTH事業が着々と進んでいるが、整備後の加入金、工事負担金はどうなるのか。

A 現在各個人宅への引き込み場所の設定をしている。現在加入の方については、サービスはそのまま提供する。新規加入については、個々の希望で選べるよ

Q 雇用促進住宅廃止の件について、町は現在どのような対応をしているのか。

A 雇用・能力開発機構は、全国的に向こう10年〜15年で段階的に廃止したい意向。市町村に（譲渡）受け入れてもらいたいのが、それがダメならば廃止、取り壊しするというもの。現在役場内部で対応を検討中である。

### 民生常任委員会

9月17日

Q 町内2つの保育所でアスベストが使用された回転釜が見つかったが、その後の対応は。

A 外釜と内釜の間に断熱用として使用されていたもの。8月8日に新しい回転釜に切り替えた。検査の結果、アスベストの飛散は確認されなかった。2つの保育所保護者に経過と対応について文書により連絡。他の部署にも再点検を指示し、異常なしと判明した。

Q 元気村の大型修繕とは。町の負担はどうなっているか。また元気村の今後の方針は。

A 県との取り決めで100万円を超える修繕については、町に2分の1の負担がかかる。今後の維持管理費等を考慮し、県へ返還するかどうかも含め

て、検討委員会で議論している。

Q 土曜日の学童保育について、要望はどれ位あったのか。実施にあたっての体制はどうか。

A 全町で64名の要望があった。実施にあたっての指導員の配置については、2名の指導員配置を予定している。

Q 社会福祉協議会が入っている、つわぶき荘・東湖園・アロハホールの一化というような話があるがどうか。施設の利用料は徴収しているのか。

A 本部を東湖園にこの方向性があるようである。一本化するのとはなく、課制、支部制は残すというものと理解している。現在、利用料はとっていない。



活発な事業を展開するハワイ元気村!!これからどうなるの?

9月10日

Q 地域の女性部が独自でお土産の商品開発をしている。補助の検討を。

A 観光メニュー等の掘り起こしについての予算は、観光ツアー等の宣伝目的のもので、個々のものには補助は行っていない。商品販売については、町もいろいろなイベント等の場を提供していきたいので、これらの場の積極的な活用をお願いしたい。

Q 上下水道料金改定が議論されているが、大口使用者（旅館等）に対する対応はどうか。

A 大口使用者への配慮について、県内市町村の状況調査の結果、旅館等の営業者に対して、クーリングダウン（冷房機器）等の明らかに下水道に流入して



効果が期待されるヌートリア捕獲器

いない水量に対して減量認定を実施している。本町においても申し入れがあれば減量認定を実施していきたい。

Q 農作物への被害が増加しているイノシシ、ヌートリア対策はどうなっているか。

A 電気柵や防護網で対応している。休猟期でも許可を出し、ワナにより捕獲してもらっている。ヌートリアについては、更に捕獲器10台を追加購入する。

Q 橋津のお台場、藩倉の活用は怎么样了ののか。

A 橋津藩倉については、町内外からの見学がある。歴史を考える会とも協力し講演会等も開催している。東郷池周辺の文化財との連携等も含めて、ボランティア説明員養成講座の開設を計画している。お台場については、復元するための図面もなく、きちんと整備できない状況である。

## 請願・陳情審査

9月定例会において常任委員会に付託した請願・陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

| 件 名                                     | 請願者・陳情者                         | 審査結果  |
|-----------------------------------------|---------------------------------|-------|
| 地方財政の充実・強化を求める請願                        | 自治労鳥取県本部<br>執行委員長 澤 田 陽 子       | 採 択   |
| 地域医療を守るための財源確保と人材確保に向けた支援を求める請願         | 自治労鳥取県本部<br>執行委員長 澤 田 陽 子       | 採 択   |
| 永住外国人への地方参政権付与を日本政府に求める意見書を採択しないよう求める陳情 | 政治結社 祖国防衛隊島根県本部<br>本部長 山 口 寛    | 不 採 択 |
| 2009年度国家予算編成において、教育予算拡充を求める陳情書          | 鳥取県教職員組合中部支部<br>支部長 平 井 尚       | 採 択   |
| 食料自給率向上、地域農畜産業の確立、稲作、酪農、畜産危機に関する陳情書     | 全日本農民組合鳥取県連合会<br>会長 鎌 谷 廣 治 他2名 | 採 択   |

### ◎ 議員発議で政府に意見書を提出

- ☆ 地方財政の充実・強化を求める意見書
- ☆ 地域医療を守るための財源確保と人材確保に向けた支援を求める意見書
- ☆ 教育予算拡充を求める意見書
- ☆ 食料自給率向上、地域農畜産業の確立、稲作、酪農、畜産危機に関する意見書



## 第6回

10月

# 臨時会

## 行政視察受け入れ

第6回（10月）臨時会  
が10月3日に開会されま  
した。

来年4月、分庁方式の  
廃止により中央公民館羽  
合分館を庁舎として利用  
するため、羽合庁舎と併  
せて改修するための補正  
予算と、これに伴う公民  
館及びハワイアロハホー  
ルの設置管理条例の一部  
改正並びに町の表彰条例  
の一部改正など5つの議  
案が提案され、全て原案  
どおり可決されました。

### 補正予算

#### ☆一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ2億  
5030万円を追加し、  
予算総額を95億5208  
万4千円とするもの。

主な内容は、庁舎改修  
本体工事約2億3千万円、  
羽合庁舎機械室アスベス

ト除去工事約1100万  
円など。

### 条例関係

#### ☆公民館の設置及び管理 に関する条例の一部改正

庁舎改修に伴い中央公  
民館羽合分館の機能をハ  
ワイアロハホールへ移管  
することに伴う、羽合分  
館の位置及び使用料の変  
更をするもの。



庁舎としての利用が決ま  
った中央公民館羽合分館

#### ☆ハワイアロハホールの 設置及び管理に関する条 例の一部改正

中央公民館羽合分館の  
機能が入るプラザ部分に  
係る業務、休館日、利用  
時間等の変更をするもの。

#### ☆表彰条例の一部改正

現行の条例は、個人か  
らのみの寄附金等に対す  
る表彰規定であるが、新  
たに団体からの寄附金等  
についても表彰する規定  
を追加するもの。

### その他

#### ☆表彰者の議決について

表彰条例の一部改正を  
受けて、今年7月、湯梨  
浜町方面区から町への  
1000万円の寄付に対  
して方面区を表彰するこ  
とについて可決。

①広島県世羅町議会総務  
文教常任委員会行政視察  
研修  
・期日 7月31日  
・調査事項 小学校の統  
廃合問題

平成の大合併により、  
全国の自治体では、学校

教育施設、保育施設等の  
統廃合を含めた施設のあ  
り方やその跡地利用など  
の問題に頭を悩ましてい  
るところ。世羅町におい  
ても小学校の統廃合問題  
が持ちあがり、議論の最  
中とのこと。研修では本  
町における統廃合までの  
経過と経費等について熱  
心に尋ねておられました。

た。町立羽合小学校の現  
場視察も行われ、校長先  
生をはじめ、教職員にも  
熱心に質問や意見交換を  
しておられ、有意義な研  
修となりました。

②和歌山県太地町議会総  
務厚生常任委員会行政視  
察研修  
・期日 10月1日  
・調査事項 健康づくり  
事業及びデジタル防災  
無線システム

古式捕鯨の町、太地町。  
人口約1800人の小さ  
な漁業の町。人口の高齡  
化に伴う医療費の増加に  
歯止めをかける健康づく  
り事業への関心と、併せ

て子育て支援事業の取り  
組み及び老朽化した太地  
町のアナログ防災無線の  
更新について費用対効果  
など熱心に意見交換を行  
いました。



世羅町議会行政視察  
（羽合小学校）

また、本町のデジタル  
防災無線戸別受信機も実  
際手にとって見ておられ  
ましたが、事業費が膨大  
なだけに、資料を持ち  
帰って更に検討を重ね結  
論を出したいと言ってお  
られました。

# 湯梨浜の誇り100選より紹介



## 茶町踊り ちやまちおど

この茶町踊りはしばらく途絶えていましたが、1967（昭和42）年に「茶町おどり保存会」が結成されて復活し、橋津地区の盆踊りとして現在も盛大に踊り継がれています。「茶町踊り唄」とともに、町の無形民俗文化財に指定されています。



## 田後笠 たじりがさ

田後地区で古くから作り続けられている手編みの菅笠（すげがさ）。大正時代まではその品質の高さから、中国一円にたくさん出荷されましたが、その後、化学製品の隆盛で生産されなくなりました。最近は少量ですが、民芸品として生産されています。

## 議会の傍聴をお気軽に

皆さんが選んだ議員が、どんな活動をしているか、また、身近な問題がどのように処理されているか関心がありませんか。議会の日程などは、議会事務局にお問い合わせください。議会及び議会事務局に関するご意見をお聞かせください。

☎ 35-5341

メール ygikai@yurihama.jp

あなたの声をお待ちしています。

## 編集後記

秋も深まり、朝夕が肌寒い季節となりましたが、皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年4月より議会広報調査特別委員会に配属され、早1年半が過ぎました。文章構成から写真撮影など根気のいる作業の連続です。

なにぶん初めての経験で不慣れでしたが、皆さんに読んでいただきやすい紙面づくりを目指して頑張っています。

これからもより良い『議会だより』を発行するために一層の努力を重ねてまいりますので、皆さんのご意見ご感想をお聞かせください。

（記 河田）

### 議会広報調査特別委員会

|      |      |
|------|------|
| 委員長  | 増井久美 |
| 副委員長 | 会見祐子 |
| 委員   | 村中隆芳 |
| 〃    | 浜中武仁 |
| 〃    | 入江 誠 |
| 〃    | 河田洋一 |